

山口県医師会報

発行所 山口県医師会
〒 753-0811 山口市大字吉敷 3325-1
083-922-2510
編集発行人 藤井康宏
印刷所 大村印刷株式会社
定価 220 円 (会員は会費に含め徴収)

平成 14 年 5 月 1 日号

1642



阿蘇暮色

渡辺 恵幸 撮

今月の視点	3 4 2
公告	3 4 3
理事会	3 4 4
会員の声	3 4 6
会員の動き	3 4 8
日医 F A X ニュースから	3 5 1
山口大学外来診療日割表	3 5 2
お知らせ・ご案内	3 4 7 ~ 3 5 1

ホームページ <http://www.yamaguchi.med.or.jp>
メールアドレス info@yamaguchi.med.or.jp

今月の視点

日本医師会健康スポーツ医学委員会報告

常任理事 小田 達郎

県医よりこの委員会に委員とし出務させていただき、平成 12 年度、13 年度の 2 年間にわたり、坪井会長より受けた諮問、「新世紀における健康スポーツ医活動のあり方 - とくに運動療法と健康増進活動推進のための具体的方策 - 」について検討を重ねて参りました。その審議結果は「健康スポーツ医学委員会答申」として平成 14 年 3 月発行の小冊子にまとめてあります。この小冊子を会員の皆様にお届けすることができればよいのですが、配布部数に限りがありますので、この欄を借りて皆様に主たる審議内容をご報告申し上げることで、私の 2 年間の務めを終えさせていただきますしたいと思います。

医療を取り巻く環境は今後ますます厳しさを増すとともに、21 世紀は予防医学に力点が置かれる時代になると考えられる。事実、生活習慣病等の疾病予防あるいは早期治療のため、老人保健事業第 4 次計画に基づく個別健康教育の実施、労災保険二次健康診断等給付事業のたち上げ、さらには「健康増進法」の策定も意図されているようである。このような時代背景のもと、健康増進活動を推進することが健康スポーツ医の使命であるとの認識のもとに、会長諮問に答えるべき資料を得るため、会員に対してアンケート調査を行った。

これをもとに答申報告書を作成した。答申

は四章からなり、第一章では健康スポーツ医の活動内容について、第二章では日常診療での活動の具体的方策について、第三章ではスポーツ・運動の現場における具体的方策、最後の第四章では健康スポーツ医活動を推進するための組織のあり方について検討がなされた。今回は紙面の関係で、日常診療活動の現場での問題点や今後の展望、さらには運動療法指導管理料（今回の診療報酬改定では生活習慣病指導管理料に項目の組み替えが行われた。しかしながら、本論では答申時の運動療法指導管理料の用語を用いることにする）についての問題点を考えてみたい。

日常診療は健康スポーツ医としての活動の重要な場である。アンケート調査でも 65.6% が一般診療の中での生活指導の一環として生かしたいと考えている。このためには、現在の保険対象疾患である高血圧症、高脂血症、糖尿病を肥満、腰痛、骨粗鬆症、関節疾患等にも拡大することを望んでいる。また、健康スポーツ医の 32.7% は内科的疾患の治療に運動療法を生かしたいと考えているが、その反面で運動療法指導管理料を保険請求したことがあるとの回答は高血圧症で 10.4%、高脂血症で 7.5%、糖尿病で 9.2% のみにとどまっていた。そこで保険請求したことのある医師に保険請求しづらい理由を聞いたところ、患者の自己負担が大きい 34.2%、指示せんの作成に時間がかかる 26.3%、月毎の

包括点数のため患者の毎月の初回支払いが非常に高くなる、検査・投薬・注射の費用が包括されているため収支がマイナスになるがともに 25.0%であった。これらは保険請求しない理由にもなっていた。次に保険上の改善策を聞いたところ、包括点数をやめて運動処方や指導を行う毎に、運動処方料を算定するが 48.6%で、現在の包括のまま点数を上げるは 5.5%のみであった。ところが、今回の診療報酬改定では生活習慣指導管理料として現状の包括のまま若干の点数アップが行われたのみであった。算定しやすい方法に抜本的に改善する必要がある。その他健康スポーツ医の評価法として認定医加算を望む者やスポーツ医学が標榜科目となることを望んでいる者が多かった。これらの要望課題については関連学会や関連団体と連携して取り組むべきである。

地域に健康スポーツ医がその活動の場を広げ、活動内容を充実させるためには、地域行政、関係団体等への働きかけも必要である。スポーツ医学関連の相談を受け付ける窓口を地域医師会内に設けることで地域のニーズに応える努力をすることも必要である。今回の診療報酬改定では、運動療法指導管理料は生活習慣病指導管理料に組み替えられたが、健康スポーツ医は日常診療においては患者の個々の状態に応じ、食生活、運動、休養等の生活全般について以前から健康増進指導を行っている。生活習慣の総合的見直しの中で、運動療法は大きな柱であることに変わりはなく、運動療法の専門家としての健康スポーツ医の役割はますます重要視されるものと思われる。

公 告

第 56 回山口県医師会総会

下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成 14 年 6 月 16 日 (日) 12 時 |
| 場 所 | 柳井市 サンビームやない |
| 表 彰 | |
| 議 事 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 12 年度山口県医師会決算報告 ○ 平成 13 年度山口県医師会事業報告 ○ 第 141・142・143 回山口県医師会代議員会議決事項の報告 |

平成 14 年 5 月 1 日

山口県医師会長
藤 井 康 宏

理事会 第 1 回

と き 4 月 4 日 午後 4 時 30 分～6 時
ひ と 藤井会長、柏村・藤原両副会長、上田専務理事、東・木下・小田・藤野・山本各常任理事、井上・吉本・三浦・廣中・濱本・佐々木・津田・西村各理事、末兼・青柳・小田各監事

協議事項

- 1 中国四国医師会連合總會分科会提出議題について
第一分科会介護保険、第二分科会医療保険、第三分科会地域保健、その他の提出議題について協議した。
- 2 山口県医師会勤務医アンケート調査票について
山口県医師会の勤務医の現状と医師並びに医療の将来に向けて、アンケート調査を 6 月 1 日に実施することとし、その質問内容を確認した。
調査結果は 10 月 26 日の全国医師会勤務医部会連絡協議会で発表する。

人事事項

- 1 各種委員会委員について
山口県医師会各種委員会について委員を決定した。
- 2 山口県医療情報ネットワーク構想策定協議会委員について
健康福祉部に設置される当協議会の委員推薦依頼を受け、県医からは吉本理事を推薦。

報告事項

- 1 救急医療情報システム打合せについて
(3 月 14 日)
当システムがスーパーハイウェイを利用したインターネット方式に大幅に変更されるため、県事務課担当より説明を受けた。まだ試作の段階であり、今後一般市民にとっても、医療関係者にとっても使いやすいシステムとなるよう要求した。
(藤野)
- 2 山口県環境審議会環境企画部会について
(3 月 14 日)
産業廃棄物の現状はリサイクル率が低く、また排出量の 9.4% が県外に搬出されている。この対応課題として、県では循環的利用の推進、適正処理の推進、処理体制の確保と公共関与事業の推進、役割分担の計画化と連携の推進、情報公開と普及啓発の推進を挙げ、これらを基本方針とした。(山本)
- 3 体験学習【放射線科】について(3 月 17 日)
詳細は会報 4 月 21 日号に掲載。(上田)
- 4 第 2 回子育て文化創造部会について
(3 月 18 日)
継続審議を行った。(事務局長)
- 5 健康づくりセンター運営委員会について
(3 月 20 日)
平成 13 年度の事業報告として、人材養成研修事業、担当職員への業務別専門研修の実施、その他、健康情報提供事業の説明が行われた。(佐々木)
- 6 郡市医保険担当理事協議会
【点数改定説明会について】(3 月 21 日)
改定内容とその経緯を説明した。しかし「205 円ルール」等の解釈において難解な点があり誤解も招いたため、翌日日医に再確認を行ったうえで郡市に通達した。
また会員への確かな伝達を工夫すべきで、地区別に講習会を開催すべきでないかとの意見も挙がり、今後協議することとした。(木下)

7 山口県成人病検診管理指導協議会「がん登録部会」「大腸がん部会について」(3月22、23日)

個人情報保護法の動きについて、個人情報の収集については本人同意が基本原則であり、これが成立するとがん登録事業の存続が危ぶまれると懸念されていたが、学術研究が目的であれば問題ないとされ、国会で審議中となっている。大腸がん検診については個別受診が次第に増えてきている。(藤原)

8 勤務医部会シンポジスト打合について

(3月23日)

今年 10 月 26 日に山口県引き受けて全国勤務医部会連絡協議会が開催される。医療改革と勤務医の対応をテーマとすることにした。(三浦)

9 山口県社会福祉審議会について(3月25日)

平成 14 年度予算について、県全体の予算がマイナスとなっているなか、健康福祉部では若干増加しているとのこと。(木下)

10 中国四国医師会連合常任委員会について

(3月31日)

中央情勢の報告がおこなわれたのち、翌日の日医役員選挙と翌々日の代議員会での質問について確認をおこなった。(上田)

11 第 106 回日本医師会代議員会について

(4月1～2日)

任期満了に伴う日本医師会の役員選挙がおこなわれた。元京都府医師会副会長の西氏の出馬によって 6 年ぶりの投票となり、坪井会長が当選した。

所信表明後のブロック及び個人質問では、2.7%の診療報酬マイナス改定、再診料の月内通減制等に議論が集中し、執行部からは今後全力で対応していくとの表明がなされた。(上田)

12 編集委員会について(4月4日)

対外的な広報に力を入れる話し合われた。会報「飄々」については、一般市民向けに分かりやすく書き直し、ホームページに載せるようにした。また、今回の診療報酬改定についても市民向けに情報提供するようにした。(吉本)

13 会員の入退会異動について

互助会理事会 第 1 回

とき・ひと 本会と同じ

1 傷病見舞金支給申請について

1 件申請承認。

<p>四月十二日、 つつしんで哀悼の意を表します。 享年七十五歳</p>	<p>謹 弔</p>	<p>奥田芳明氏 山口市医師会</p>
--	----------------	-------------------------

会員の声

新年度医師会執行部も各地区では人選が進み、新体制が定まりつつあることは、ご同慶の到りであります。小生も執行部であった昔を偲びながら、嬉しく思っています。今は一日一日を大切にしながら生きていますが、老人のつづやきとしてお聞き下さい。

今回の医療制度改正には驚かされました。日本の医療制度は戦後に残された、最後の統制経済に由来するものであります。外国では病気になると極めて料金が高く、庶民は困っているようです。診療単価を抑えるようなものでは困る。二年前カナダを旅行した時、休日診療所を見聞する機会がありました。綺麗に整ってはいたが、料金の高いのには驚きました。日本では何時でも、何処でも、極めて安易に医療が提供されている。一方では外務省の驚くような無駄遣い、政治家そのものの醜聞等、直さねばならぬことを置き去りにしている。私なりに所見を述べてみたいと思います。

一、政治の基本は住民生活の安定であります。中でも大切なものは保健であります。外国では気軽に安心して医療を受けることはできません。これからの若い医師たちが昼も夜も、意欲を出して取り組めるよう、お願いしたいと思います。戦後半世紀が過ぎたというのに医療保険だけが統制経済の枠にはめられ、しかもその本体を減額しようという、大変なことである。国民医療が如何にあるべきか、問い直さなければならない。

一、医師も本来の業務の研修、医学の進歩に従った勉強は当然の事ながら、地域のリーダーとしての教養と、ほんとうに町に溶け込み医療のことは医師会にまかせてという気概がほしい。私が医師会長の折は市長や議長、担当議員との懇談会も持っていた。教養については余技をずいぶん勉強

したが、何ひとつ自慢できるものはない。併しその道を理解できる心は持ち合わせています。句作、作詞、漢詩作り等種々体験しました。囲碁、謡曲、マージャン等いろいろやったがすべて中途半端です。母の里は長崎ですが、叔父は早大英文科を出て、高校教師と野球部の監督を務め、家には多数の生徒が出入りし、地方誌に釣を中心の随筆を連載していましたが原爆症で他界しました。母の妹婿の叔父は長崎医大助教授で、句誌「馬酔木」の同人、俳誌「棕櫚」を主宰していて長崎市の名誉市民になりました。叔父たちの影響を受けたが上達せず今日に至っています。二十年前徳山看護専門学校校歌を作詞し原田忠明先生の令筆になる校歌が大講堂に掲げられ、学校の式典の日、生徒が合唱してくれるとうれしくなります。また昨年七月海上自衛隊士官候補生百五十名が二隻の軍艦で中東に遠洋航海の途次、マダガスカル島に寄港し、山口県ご出身の秋枝海軍中佐ほか三名が特殊潜航艇でデイゴスワレス湾の英国艦隊を襲撃し、散華された慰霊祭を行うと聞いていたので参加することを決め、鎮魂歌を作詞し、奉納しました。昨年県会報緑陰随筆に詳細を報じましたが勇士の行動は決して忘れることはできません。風化させてはならないと存じます。

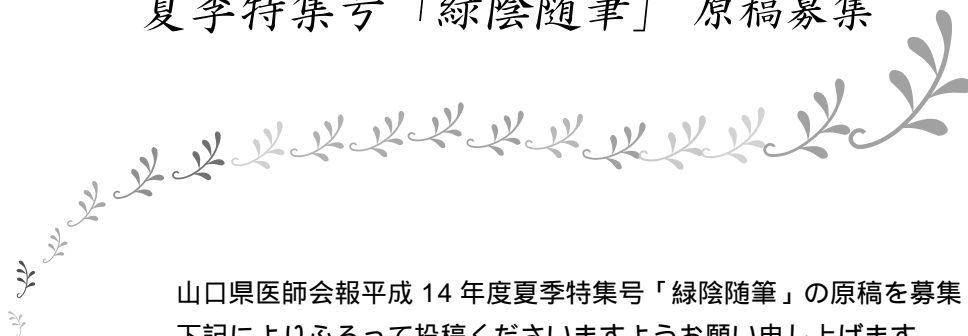
一、最近周辺の先生方が他界され寂しくなりました。千治松弥太郎先生、小生の兄のような存在で温顔に満ち、いろいろとご指導いただき、県保険医協会報に思い出の記を掲載させていただきました。自分史「マニラの落日」を残されました。広田雅太郎先生、温顔と立派な診療所を残されました。中原寛先生、竹トンボを残されました。見事な作りで、広場の空に消えていきました。大田精一先生、県医随筆集のレギュラーでした。周辺より親しい先生方が欠けてゆき、老人のつづやきが止まりません。

老医のつづやき

徳山
姫野
英雄

お知らせ

夏季特集号「緑陰随筆」原稿募集



山口県医師会報平成 14 年度夏季特集号「緑陰随筆」の原稿を募集します。
下記によりふるって投稿くださいますようお願い申し上げます。

応募締切	7月4日(木)
原稿の種類	随筆、紀行、俳句、詩、漢詩など 写真(モノクロ・カラーどちらでもかまいませんがカラー印刷にはしません) 写真等ありましたら1~2枚添付して下さるようお願いいたします。 絵(カラー印刷にはしません) 書(条幅、色紙、短冊など)
字数	1ページ(1,800字程度)を目安に、特に長文にならないようお願いします。
提出方法	パソコンで作成した場合・・・電子メールまたはフロッピー /CD-R/MO の郵送 ワープロ専用機で作成した場合・・・フロッピーの郵送 手書き原稿・・・郵送 可能であれば、できる限り でご協力願います。
原稿送付先	〒753-0811 山口市大字吉敷 3325-1 総合保健会館 5階 山口県医師会事務局総務課 F A X 083-922-2527 E-mail miyano@yamaguchi.med.or.jp
備考	未発表の原稿に限ります。 投稿された方には緑陰随筆3部程度を謹呈します。

会員の動き

- 平成 14 年 3 月受付分 -

入 会

郡市	県	日	氏名	診療科目	医療機関名
下関市	2A	B	山下 勝弘	脳神外	総合病院国立下関病院
宇部市	2A	A2	中野 博孝	耳鼻咽	興産(株)中央病院
下松	2A	-	牧野 泰樹	内	(株)日立製作所笠戸事業所附属日立病院
柳井	2A	A2	阿部 博昭	産婦	厚生連周東総合病院
柳井	2A	-	松島 寛	児	厚生連周東総合病院
山口大学	3	A2	石田洋一郎	整	整形外科

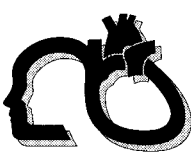
退 会

郡市	氏名	備 考
柳井	片山 和信	国立療養所柳井病院 より
美祿郡	田村 克	総合病院共立美東国保病院 より
下関市	坂井 尚二	総合病院下関市立中央病院
下関市	石松 正也	済生会下関総合病院 より
宇部市	北原 哲博	(医) 聖比留会厚南むつし病院 より
徳山	瓦 国利	瓦医院 より
下松	副島 哲郎	(株)日立製作所笠戸事業所附属日立病院 より
下松	原田友美子	東洋鋼鋳診療所 より
岩国市	山村 真弘	(医) 錦病院 より
岩国市	西田康二郎	(医) 錦病院 より

岩国市	中島 一毅	(医)岩国みなみ病院 より
小野田市	白上 巧作	小野田市立病院 より
山口大学	山田 千佳	公衆衛生学 より
山口大学	萱野 幸三	内科学第一 より
山口大学	和田 靖明	内科学第二 より
山口大学	保坂 利男	内科学第三 より
山口大学	竹田 孔明	内科学第三 より
山口大学	黒川 和良	内科学第三 より
山口大学	新崎 有美	小児科学 より
山口大学	藤井 幸蔵	内科学第二 より

異 動

郡市	氏名	異動事項	備 考
下関市	粟屋 信仁	勤務先	粟屋医院【下関医師会病院より】
宇部市	原田 俊則	勤務先	(医)和同会常盤台病院【国立下関病院より】
山口市	緒方 睦代	勤務先	(医)小林眼科【済生会山口総合病院より】
徳 山	(医)まえだ循環器内科	所在地	徳山市速玉町 6 番 12 号
小野田市	松岡 彰	新規開業	松岡整形外科
山口大学	菅原 一真	勤務先	耳鼻咽喉科学【耳鼻咽喉科ののほなクリニックより】



Ca拮抗剤 薬価基準収載

ニバジール錠 ^{2mg}/_{4mg} **Nivadil**® Tablets

(ニルバジピン錠) 劇薬・指定医薬品・要指示医薬品^{注)}

注) 注意—医師等の処方せん・指示により使用すること

● 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましても、製品添付文書をご参照下さい。

製造発売元



大塚市中央区道修町3-4-7 〒541-8514

資料請求先：
藤沢薬品工業株式会社
作成年月2001年11月

ご 案 内

日本医師会認定産業医制度指定研修会

下記研修会は、日本医師会認定産業医制度における認定（基礎研修）または更新（生涯研修）のための単位として認められます。なお、下記研修会のプログラム、受講申し込み等の詳細につきましては、すべて主催の医師会等にご連絡ください。

【注】() 内の数字は単位数です。

滋賀県医師会 077-524-1273 基礎・実地（各 2） 5/22（水） 6/26（水） 生涯・実地（各 2） 5/22（水） 6/26（水）	生涯・専門（各 2） 5/9（木） 5/23（木） 6/6（木） 6/18（火）
兵庫県医師会 078-371-4114 基礎・後期（ 6） 6/16（日） 生涯・専門（ 6） 6/16（日）	香川県医師会 087-861-2307 基礎・前期（ 2） 5/23（木） 基礎・後期（各 2） 6/27（木） 7/25（木） 生涯・更新（ 2） 6/27（木） 生涯・専門（ 2） 7/25（木）
奈良県医師会 0744-22-8502 基礎・実地（ 1.5） 7/18（木） 基礎・実地（ 2.5） 5/30（木） 基礎・後期（ 1） 7/18（木） 基礎・後期（各 2.5） 6/20（木） 8/8（木） 9/19（木） 生涯・実地（ 1.5） 7/18（木） 生涯・実地（ 2.5） 5/30（木） 生涯・専門（ 1） 7/18（木） 生涯・専門（各 2.5） 6/20（木） 8/8（木） 9/19（木）	香川医科大学医師会（香川県） 087-891-2389 基礎・実地（ 2） 5/17（金） 基礎・後期（各 2） 6/21（金） 7/12（金） 生涯・更新（ 2） 6/21（金） 生涯・実地（ 2） 5/17（金） 生涯・専門（ 2） 7/12（金）
和歌山県医師会 073-421-8990 基礎・実地（ 1.5） 5/23（木） 基礎・後期（ 1） 5/23（木） 生涯・実地（ 1.5） 5/23（木） 生涯・専門（ 1） 5/23（木）	福岡県医師会 092-431-4564 基礎・前期（各 7） 5/12（日） 6/2（日）
広島県医師会 082-224-1361 基礎・後期（各 1.5） 5/8（水） 5/14（火） 5/23（木） 5/29（水） 生涯・更新（ 1.5） 5/8（水） 生涯・専門（各 1.5） 5/14（火） 5/23（木） 5/29（水）	産業医科大学（福岡県） 093-603-1611 基礎・前期（ 6 日間で 14） 8/5（月）～ 10（土） 基礎・実地（ 6 日間で 10） 8/5（月）～ 10（土） 基礎・後期（ 6 日間で 26） 8/5（月）～ 10（土）
日本脳神経超音波学会・呉市医師会（広島県） 0823-72-7171 基礎・後期（ 2） 5/23（木） 生涯・専門（ 2） 5/23（木）	大分県医師会 097-573-8070 基礎・後期（ 2） 5/14（火） 生涯・更新（ 2） 5/14（火）
たばこと健康広島フォーラム（広島県） 082-221-5463 基礎・後期（ 2） 5/31（金） 生涯・専門（ 2） 5/31（金）	宮崎県医師会 0985-22-5118 基礎・後期（ 4） 6/1（土） 生涯・専門（ 4） 6/1（土）
山口県医師会 083-922-2510 基礎・後期（ 1） 5/12（日） 生涯・専門（ 1） 5/12（日）	鹿児島県医師会 099-254-8121 基礎・実地（ 2） 7/31（水） 基礎・後期（各 2） 5/9（木） 5/15（水） 5/24（金） 5/28（火） 6/6（木） 6/21（金） 7/12（金） 生涯・更新（ 2） 5/28（火） 生涯・実地（ 2） 7/31（水） 生涯・専門（各 2） 5/9（木） 5/15（水） 5/24（金） 6/6（木） 6/21（金） 7/12（金）
徳島県医師会 088-622-0264 基礎・後期（各 2） 5/9（木） 5/23（木） 6/6（木） 6/18（火）	日本産業衛生学会（鹿児島県） 099-254-8121 基礎・後期（ 2.5） 6/14（金） 基礎・後期（ 4） 6/15（土） 生涯・専門（ 2.5） 6/14（金） 生涯・専門（ 4） 6/15（土）



4 月 5 日

坪井会長が 4 選果たす
 国民サイドに踏み込んだ医政活動を展開
 会内に「情報・広報センター」設置
 「マイナス改定の失地回復」に向け決意表明
 外総診廃止は日医の基本方針に沿った対応
 診療報酬 2.7% マイナス改定に抗議文

4 月 9 日

医療機関の広告規制緩和
 平均在院日数より高齢化の進行の影響大
 公的病院の役割と機能の明確化
 外国人医師の受け入れ拡充求める

4 月 12 日

今診療報酬改定に日医代議員会が抗議文
 診療報酬の再改定を要求へ
 国民向け医療政策広報の拡充などを提言
 14 日分限度の内服薬・外用薬も 30 日投与可能に
 留意すべき感染症に天然痘、肺炭疽

ご 案 内

第 9 回 消化器病シリーズ講演会

と き 5 月 3 0 日 (木) 午後 6 時 3 0 分 ~
 ところ セントコア山口 2 階「サファイア」
 山口市湯田温泉 3-2-7 TEL083-922-0811

1 9 : 0 0 ~ 特別講演 「肝癌診断と治療の進歩」
 山口大学医学部先端分子応用医科学講座消化器病態内科学教授 沖田 極

日本医師会生涯教育制度による単位 (5 単位) が取得できます。

共催 山口市医師会ほか

外 来 診 療 日 割 表 山口大学医学部附属病院 平成 14 年 4 月 1 日 現在 頁 1

※診察時間の変更：08:00～12:00、13:00～17:00(急患)

科名	月	診察室	診察時間	担当	休診	夜	本	急	急
総合外来 5:20/7	(3/内) (総合診療)	小児科(小児)	08:00-12:00	小野寺 孝一	08:00-12:00	08:00-12:00	高橋 伸一	高橋 伸一	高橋 伸一
		内科(内科)	08:00-12:00	山本 隆一	08:00-12:00	08:00-12:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
内 科	(3/内) (総合診療)	内科(内科)	08:00-12:00	山本 隆一	08:00-12:00	08:00-12:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		内科(内科)	13:00-17:00	山本 隆一	13:00-17:00	13:00-17:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		内科(内科)	08:00-12:00	山本 隆一	08:00-12:00	08:00-12:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		内科(内科)	13:00-17:00	山本 隆一	13:00-17:00	13:00-17:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		内科(内科)	08:00-12:00	山本 隆一	08:00-12:00	08:00-12:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		内科(内科)	13:00-17:00	山本 隆一	13:00-17:00	13:00-17:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		内科(内科)	08:00-12:00	山本 隆一	08:00-12:00	08:00-12:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		内科(内科)	13:00-17:00	山本 隆一	13:00-17:00	13:00-17:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		内科(内科)	08:00-12:00	山本 隆一	08:00-12:00	08:00-12:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		内科(内科)	13:00-17:00	山本 隆一	13:00-17:00	13:00-17:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
神経内科 5:20/7	(3/内) (総合診療)	神経内科(神経)	08:00-12:00	山本 隆一	08:00-12:00	08:00-12:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		神経内科(神経)	13:00-17:00	山本 隆一	13:00-17:00	13:00-17:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
外 科	(3/内) (総合診療)	外科(外科)	08:00-12:00	山本 隆一	08:00-12:00	08:00-12:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		外科(外科)	13:00-17:00	山本 隆一	13:00-17:00	13:00-17:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
精神神経科 5:20/7	(3/内) (総合診療)	精神神経科(精神)	08:00-12:00	山本 隆一	08:00-12:00	08:00-12:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		精神神経科(精神)	13:00-17:00	山本 隆一	13:00-17:00	13:00-17:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
小児科 5:20/7	(3/内) (総合診療)	小児科(小児)	08:00-12:00	小野寺 孝一	08:00-12:00	08:00-12:00	小野寺 孝一	小野寺 孝一	小野寺 孝一
		小児科(小児)	13:00-17:00	小野寺 孝一	13:00-17:00	13:00-17:00	小野寺 孝一	小野寺 孝一	小野寺 孝一
整形外科 5:20/7	(3/内) (総合診療)	整形外科(整形)	08:00-12:00	山本 隆一	08:00-12:00	08:00-12:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一
		整形外科(整形)	13:00-17:00	山本 隆一	13:00-17:00	13:00-17:00	山本 隆一	山本 隆一	山本 隆一

平成 14 年 4 月 1 日 現在 版 3

科別 曜日	月		火		水		木		金	
	専門医	医師名	専門医	医師名	専門医	医師名	専門医	医師名	専門医	医師名
循環器科 5 25 位	内田 隆 佐野 利文 製薬 徳田	内田 隆 佐野 利文 製薬 徳田	内田 隆 佐野 利文 山口 宗徳	内田 隆 佐野 利文 山口 宗徳	内田 隆 佐野 利文 山口 宗徳	内田 隆 佐野 利文 山口 宗徳	内田 隆 佐野 利文 山口 宗徳	内田 隆 佐野 利文 山口 宗徳	内田 隆 佐野 利文 山口 宗徳	内田 隆 佐野 利文 山口 宗徳
アレルギー科 5 25 位	アレルギー	青川 博	アレルギー	青川 博	アレルギー	青川 博	アレルギー	青川 博	アレルギー	青川 博
リウマチ科 5 (2 日) 25 日 (3 日) 25 日	アレルギー	青川 博	アレルギー	青川 博	アレルギー	青川 博	アレルギー	青川 博	アレルギー	青川 博